

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2008 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 代々木公園陸上競技場（織田フィールド）使用上の注意

イ) 当該種目出場競技者以外は、競技実施エリアへの立ち入りを禁止する。

ロ) 更衣室は管理事務所付設のものを使用することができる。

ハ) 競技場は全天候舗装である。（第 143 条「競技用靴」の項を参照）

ニ) 競技場内でのすべての電源の使用を禁止する。

ホ) 練習場所については、トラック競技開始前の 16：30 までトラック内で練習することができる。また、その後は隣接しているサッカー場を開放する。

3. ナンバーカードについて

ナンバーカードは正規のものを 2 枚配布する。そのままの大きさと胸と背中に確実につけること。ただし、走高跳、棒高跳競技者は胸、または背だけでもよい。

トラック種目出場者は競技者係で配布の写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方につける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。

ナンバーカードの地色、数字の色は下記の通りとする。

種 目	ナンバーカード
・ 男子全種目	黄色地 × 黒数字
・ 女子全種目	ピンク色地 × 黒数字

4. 競技者の招集について

イ) 競技者招集所は用器具庫付近（3000m 障害水濠奥）に設置する。

ロ) 各種目の招集完了時間は下表の通りとする。なお、下記招集完了時間は競技日程を基準とする。

競技種目	ラウンド	招集開始時間	招集完了時間
トラック ・ 男子、女子全種目	決 勝	競技開始定刻 30 分前	競技開始定刻 20 分前
フィールド ・ 男子、女子全種目 男子棒高跳を除く	決 勝	競技開始定刻 40 分前	競技開始定刻 30 分前
	・ 男子棒高跳	決 勝	競技開始定刻 90 分前

ハ) 競技者の競技実施エリアへの入場は担当審判員の指示による。

- 二) 代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- ホ) 招集完了時間に遅れると、当該種目を棄権したものととして処理するので注意すること。
- へ) リレー競走は、走順をオーダー用紙に（選手受付時に配布）に記入して、**招集完了 1 時間前までに競技者係に提出すること**（メンバーについては競技規則第 170 条を参照のこと）。

5. 棄権について

棄権する場合は、競技者係に申し出ること。

6. 競技の抽選・番組編成

- イ) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが 7 名以下の場合は 1 レーンを空けて 2 レーンから行う。
- ロ) フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。練習は審判員の指示に従って行うこと。

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール、やりは、個人所有のものを持ち込むこと。ただし、やりは招集完了時間 1 時間前に器具庫（管理事務所周辺）にて技術総務に許可をもらうこと。

8. 競技について

- イ) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下表の通りとする。

走高跳 (女子)	練習	1	2	3	4	5	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 3 c m 刻みとする。
	1.55	1.60	1.65	1.68	1.71	1.74	
棒高跳 (男子)	練習	1	2	3	4	5	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 5 c m 刻みとする。
	4.60	4.80	4.90	5.00	5.10	5.20	

ただし、気象条件等で変更になることがある。

- ロ) 走幅跳・三段跳・投てき種目については 2 回の試技で上位 8 人を決定し、以後 2 回の計 4 回までの試技とする。
- ハ) 計時・計測について
 - トラック競技の計時はすべて電気計時（1 / 100 秒）を用いて行う。
- ニ) 身体の故障のため競技を続行することが困難となった場合は、最寄りの審判員に申し出て、指示を受けること。
- ホ) 800m に関して 1 レーンに 2 人入る場合がある。
- ト) 三段跳の踏切板の位置は 13m とする。

9. 表彰について

- イ) 各種目とも3位までを表彰し、副賞を与える(2組以上の場合はタイムレース上位3位とする)。対象者は大会本部まで受け取りに来ること。
- ロ) 全種目を通して最も優秀な成績を修めた男女各1名に最優秀選手賞を与える。

10. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。また、基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

11. その他

- イ) 2008年度の日本陸上競技連盟競技規則修正点について特に注意すること。
- ロ) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- ハ) 競技運営上、多少競技日程の変更がある場合がある。
- ニ) 競技場内での競技者への付添は一切認めない。
- ホ) IDについて
競技実施エリアに立ち入ることができる者は、ネームプレート・選手リボン・報道用ビブスのいずれか1つをつけている者に限られる。
- ヘ) 応急処置について
競技中の事故等によって身体の故障が起こった場合、医務員が応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする(競技者保険の適用)。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わないものとする。
- ト) 盗難・紛失について
盗難・紛失について、主催者側で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。(遺失物等は大会本部で管理する。)
- チ) 代々木公園織田フィールド開門および閉門時間について
開門 15:00 閉門 21:00
- リ) 駐車場について
参加者の車両は場内に駐車することはできないので、近辺の有料駐車場等に駐車すること。
なお、近辺での路上駐車は厳禁とする。
- ヌ) その他、不明な点は大会総務に問い合わせること。